

3 貯蔵施設の放射線障害の防止に関する構造設備の概要	洗浄設備の場所			
	洗浄設備の排水設備との連結			
	フード、グローブボックス等の個数並びに排気設備との連結			
	汚 染 検 査 設 備 等	汚染検査を行う場所		
		汚染検査用測定器の種類及び台数		
		洗浄設備及び更衣設備		
		汚染除去のための器材		
	C T 撮影装置、診療用放射線照射装置又は診療用放射線照射器具			
	貯蔵施設の種類			
	貯蔵施設のしゃへい			
	出入口の数			
	扉、ふた等外部に通ずる部分のかぎ等			
	標識を付ける箇所			
	受皿、吸収材等の汚染拡大防止設備及び器具			
	貯 蔵 室	事 項	室名	
			主要構造部等の構造	
		材 料	壁	
床				
天井				
特定防火設備に該当する防火戸(扉、空調ダクト等)				
最大貯蔵予定数量(ベクレル)				
貯 蔵 箱 等	個数、構造及び材料			
	最大貯蔵予定数量(ベクレル)			
貯 蔵 容 器	貯蔵容器のしゃへい			
	空気汚染のおそれのある放射性同位元素のための容器の有無及び構造			
	液体状の放射性同位元素を入れる容器の有無及び構造			
	標識を付ける箇所			
	貯蔵する放射性同位元素の種類及び数量の表示			
受皿、吸収材等の汚染拡大防止設備及び器具				

様式第 25 (第 3 片)

4	運搬容器のしゃへい				
	運搬容器の放射線障害の防止に関する構造設備の概要	空気汚染のおそれのある放射性同位元素のための容器の有無及び構造			
		液体状の放射性同位元素を入れる容器の有無及び構造			
		標識を付ける箇所			
		運搬する放射性同位元素の種類及び数量の表示			
		受皿、吸収材等汚染拡大防止設備及び器具			
5	廃棄施設のしゃへい				
	排水設備	種類			
		個数			
		性能			
		材料			
		構造設備	排液流出調節装置		
			排液の採取、濃度の測定		
			材質及びその構造		
			開口部		
	標識を付ける箇所				
	排気設備	種類			
		個数			
		性能			
		材料			
		構造			
		汚染空気の広がりの防止措置			
		標識を付ける箇所			
	廃棄施設の放射線障害の防止に関する構造設備の概要	焼却炉	種類		
			個数		
			気体が漏れにくい構造		
			灰が飛散しにくい構造		
			排気設備との連結		
		焼却残さの搬出口の廃棄作業室との連結			
		焼却炉設備	廃棄作業室	突起物、くぼみ及び仕上材の目地等のすきまの状況	
				内部の壁、床等の表面の材質	
				フード及びグローブボックスの個数並びに排気設備との連結	
				標識を付ける箇所	
汚染検査室		汚染検査室	位置		
			突起物、くぼみ及び仕上げ材の目地等のすきまの状況		
			内部の壁、床等の表面の材質		
			洗浄設備及び更衣設備		
			汚染検査用の測定器の種類及び台数		
			汚染除去のための器材		
			洗浄設備の排水設備との連結		
			標識を付ける箇所		

様式第 25 (第 4 片)

	保管 廃棄 設備	外部との区画の状況					
		扉、ふた等のかぎ等の設備					
		保管 廃棄 容器	構造及び材料				
			空気汚染のおそれのある放射性同位元素のための容器の有無及び構造				
			液体状の放射性同位元素を入れる容器の有無及び構造				
			標識を付ける箇所				
標識を付ける箇所							
6 放射線治療 病室の障害 の防止に関 する構造設 備の概要	床面積 (m ²)						
	病床数 (床)						
	放射線治療病室の天井、床、壁、出入口の扉、窓等のし ゃへい						
	標識を付ける箇所						
	突起物、くぼみ及び仕上げ材の目地等のすきまの状況						
	内部の壁、床等の表面の材質						
	汚 染 検 査 設 備 等	汚染検査を行う場所					
		汚染検査用の測定器の種類及 び台数					
洗浄設備及び更衣設備							
汚染除去のための器材							
7 使用室等の 放射線障害 の防止に関 する予防措 置の概要	管 理 区 域	施設別	使用室	貯蔵施設	廃棄施設	放射線治療病室	
		区分					
		さく等の立入制限措置					
	そ の 他	標識を付ける箇所					
		管理区域のしゃへい					
		注意事項を掲示する箇所					
		敷地内の境界等における防護					
		患者の被ばく防止					
放射線診療従事者等の被ばく防止等							
8 放射線障害 の防止に関 する安全管 理体制の概 要	区分	氏名	職種	放射線診療に関する 経歴			
	放射性同位元素を使用する 医師又は歯科医師						
	安全管理に専ら従事する診 療放射線技師	※					
	安全管理体制の確立を目的 とした委員会等の設置状況	※					
9	予定使用開始時期	年 月 日					

(注意)

上記「※」印のある部分については、陽電子断層撮影診療用放射性同位元素を使用する場合にのみ記入してください。

添付書類

- 1 隣接室名、上階及び下階の室名並びに周囲の状況を明記した診療用放射性同位元素使用室、陽電子断層撮影診療用放射性同位元素使用室、貯蔵施設、廃棄施設及び治療病室の平面図並びに側面図
- 2 シャーペイ計算書
記入上の注意
 - (1) 管理区域を明示してください。
 - (2) 線源からの画壁等の外側までの距離並びに防護物の材料及び厚さを記入してください。
 - (3) 画壁等の外側の放射線量率については、画壁等の外側の最も近接した点で、通常の場合の最大量の使用（貯蔵、廃棄）状態を想定したときの計算値とその計算式を記入してください。
計算責任者の所属、職及び氏名を記入してください。
- 3 陽電子断層撮影診療用放射性同位元素を使用する医師又は歯科医師については次に掲げる書類
 - (1) 常勤職員であることを証明する書類
 - (2) 陽電子断層撮影診療に関する安全管理の責任者であることを証明する書類
 - (3) 核医学診断の経験を 3 年以上有していることを証明する書類
 - (4) 陽電子断層撮影診療全般に関する所定の研修を終了していることを証明する書類
- 4 陽電子断層撮影診療に従事する診療放射線技師について陽電子断層撮影診療に関する所定の研修を終了していることを証明する書類